





中標津町内にあるセレクトショップの移転改修計画である  
生活に寄添う「道具」のような洋服や雑貨をセレクトしており  
一見すると雑多な印象も、店主の拘りを強く感じさせる時流に囚われない  
品々が並び、道内外にも根強いファンを持つセレクトショップである  
店主は映画や音楽に造詣が深く、店内の空気感にも心地よい抜け感があった  
流行を取り入れるような事はせず、店主がセレクトした商品が  
大きなボリュームの倉庫のような高さのある店内に溢れているように、  
また、以前の店舗にも流れていた空気感も取り入れる為、  
素朴な表情のシナ合板の棚板や塗装の色味として計画した  
既存建物の梁など工業的なスチール等の意匠も取り入れて、セレクトにある  
ワークテイストやミリタリー的な商品とショップ空間が適度に相互に関係していく